

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	創業支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	商業・市街地活性化課		包含する細々目	1	7	1	2	11	3	950
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		地域経済活性化プログラム 空き店舗活用推進事業				
		事業期間	15	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	起業希望者 高校生等	19歳以上の市民	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			87601	87000			
	学生、生徒数		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			12965	12500			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	起業のノウハウを習得し、起業を実現してもらおう。 起業体験により、将来の起業に結び付けてもらう。	講習会、相談会等に参加した起業希望者	18目標	60	最終目標	60	23
			18実績	72	19目標	60	↑
		23目標	60	23実績		最終目標達成年度	
		起業体験に参加する学生、生徒	18目標	30	最終目標	40	23
18実績			12	19目標	40	↑	
23目標			40	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	起業希望者の支援を行う。 起業の動機付け、出店、出店後のフォローまでを支援する。	18年度の実績 次世代起業家育成事業(高校生起業ショップ) 12人 起業セミナーの開催(会議所、商工連と共同実施) 34人 起業家フォローアップ事業 9人 起業個別相談会 6人 ネットビジネス講座 23人 空き店舗の情報提供	講習会、相談会等に参加した人数	84
	19年度計画	次世代起業家育成事業(子どもあきんど塾・高校生起業ショップ) 起業セミナーの開催(会議所と共同実施) 起業家フォローアップ事業 起業個別相談会 空き店舗の情報提供 ネットビジネス講座は経営改善支援事業へ移行	講習会、相談会等に参加した人数	100

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,000	950
	事業費計(A)	1,000	950
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	2,788	2,738

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	起業・就職してもらおう	商工団体等で支援して起業した人数	現状値	17	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	20
	創業支援資金のあっせん数		現状値	43	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	30	

この事業を開始したきっかけ 地域商業の衰退に歯止めを掛けるため、新たに起業する人の支援を開始した。	事業を取り巻く状況の変化 経済状況の急激な変化に伴い、地域経済が低迷し、起業しにくい状況であるが、福祉、子育て、環境等の新たな分野での起業が始まっている。	事業に対する市民や議会の意見 起業、経営革新による新規雇用の創出は、急務の課題であり、市民の期待も高い。
------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 起業者の増加や空き店舗の活用が地域商業の活性化に結びつく。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 商工団体やNPOなどの支援機関が連携して取り組むことで、より効果が現われる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 広く市民に起業の意識やノウハウを持ってもらうことが肝要である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 地域内の創業が進まず、地域経済の活気がなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 小学生から既存商店の後継者まで、意欲ある人材を育てることが出来る。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 商工会議所のチャレンジ相談室と類似するが、廃止の予定もあり、今後統合して行っていきたい。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 起業家の育成や開業支援は、地域経済活性化のために市として取り組む必要がある。		効率性 評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 最低限の経費で行っている。
		公平性 評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者:市民 年齢や立場に応じた支援を行うことで、市民全体を対象にする。セミナー等について、一部参加費用をお願いしているものもある。	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 19年度 起業希望者の掘り起こしを意識した起業セミナーを行う。 実施年度 具体化
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	雇用の改善などによる起業意識の縮小が進んでいる。 次世代の起業家を育成する一方で、起業希望者のための起業セミナー及び起業後のフォローを行う。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	